

EVALUATION

全国各地から寄せられるユーザー様からの貴重な声の数々。
 アールエフ's Voiceでは、毎回その中から評価レポートを取り上げ、
 内容分析してご紹介しています。

8年前の口腔内カメラもまだ現役。 最新機種と両方使い分けています。

ななくま歯科医院

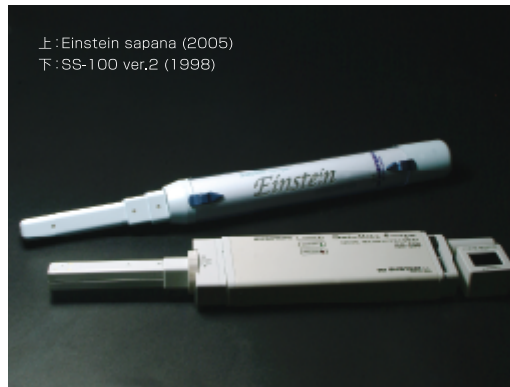
(福岡県博多区)

選んだ決め手は性能と価格

当院では、アールエフのCCDカメラは3代目になります。8年ぐらいい前、当初から他社の製品と比較して、その性能と価格でアールエフ社のもので使わせていただいています。正直言って、現在主流となっているインシュタインと比べれば初期のものは、形も大きく、画像も粗かった。それでも他社製品と比べれば群を抜いた使い易さがありました。

旧型と新型カメラを併用

今は当院での2代目となるSS-100と3台目のインシュタインを使っています。



アールエフの良いところは古い代のももメンテナンスをしながら長く使えるし、同時に刻々と進化しているニーズに沿った新機種も次々と出して新旧両方活躍してくれることです。

使用方法

初診時のコンサルテーションに使うのは勿論ですが、今はアカウンタビリティの問題もあり、日常の診療において治療の前には出来るだけ、患者自身に患部を確認してもらうように心掛けています。その際、いちいち立ち指し示す時間もないのでレーザーポインターを使って説明を行うとピンポイントで患部の指導が出来るので便利です。ビジュアルは幾らもの言葉より説得力があるのだと実感しています。

評価レポート募集

アールエフ's Voiceでは製品評価レポートを募集しています。
 ご協力いただける方は ① 600~800字程度の原稿
 ② 写真画像数点を編集部までお寄せください。
 受け付けはメールにて
 E-mailアドレス：voice@rfsystemlab.com
 ※医院名/住所/電話番号/メールアドレスもご記入ください。
 誌面に掲載させていただく際は、編集部よりご連絡させていただきます。

SS-100からはじまる

アールエフ 歴代口腔内カメラ一覧

開発のきっかけは1人の米国歯科医師の声から

Voice!



「口腔内カメラを作ってほしい」「コウクウナイカメラ？」96年当時、放送業界向けCCDカメラを作っていたアールエフには、それは見たことも聞いた事もない代物だった。開発を依頼してきたのは、米国の歯科医師マイケル吉田。当社製の模型電車の小型コードレスカメラを見て思い立ち、はるばる日本の長野までやってきたという。アメリカの歯科実情を真剣に語る彼の姿に、口腔内カメラという未知なる分野のカメラ開発を即決する。

そして約1年の試行錯誤の末、ついにワイヤレス口腔内カメラの開発に成功。サテライトVシリーズ SS-100が誕生した。当時アメリカで使われていたケーブル付きカメラの約1/5の価格で発売されたこのカメラは、革新的な商品として日本に先駆けアメリカの歯科医師の間でブレイク。ひとりの歯科医師の情熱が生み出した新しいカメラ。これを機に、アールエフはユーザー様の声を反映した口腔内カメラの開発に次から次へと携わるようになっていったのです。

— あなたの製品へのアイデアをお聞かせ下さい —

Dr.吉田の声から口腔内カメラが出来たように、アールエフはユーザー様の声にお応えして開発・製造を行っています。こんな製品がほしい、あったら便利というあなたのアイデアをお寄せください。また、既存製品についての改善等の声もお聞かせ下さい。あなたの思い描いた製品が誕生するかもしれません。別添の「VoiceSheet」または当社ホームページからご応募できます。さらにと光るアイデアをお待ちしております。

<http://www.rfsystemlab.com/idea.html>



*国内では発売されなかった製品もございます